



INTILAQ東北イノベーションセンターの 活動内容について

公益財団法人 七十七ビジネス振興財団

今回は、仙台市の卸町にある「INTILAQ（インティラック）東北イノベーションセンター」について特集いたします。当センターは平成28年2月にオープンしたインキュベーション施設であり、起業を支援する様々なイベントを運営されています。当センター設立の経緯やこれまでの活動内容などについて、センター長の佐々木 大 様にお伺いしました。

— 「INTILAQ東北イノベーションセンター」 設立の経緯について教えてください

東日本大震災により被災した地域の復興支援のため、カタール政府は1億米ドルの資金を出して「カタールフレンド基金」を設立しました。基金は「子どもたちの教育」、「健康」、「水産業」、「起業家支援」の4分野を支援するプロジェクトを対象に運営されており、その中の「起業家支援」分野で唯一認められたプロジェクトが「INTILAQ」です。

当センターを運営する「IMPACT Foundation Japan」は、次世代グローバルリーダーの育成を目指し、平成22年に設立された法人です。世界的なトークイベント「TED×Tokyo」や、高校生と海外の大学生との交流機会を提供するサマースクール「H-LAB」といったプロジェクトを企画・運営してきました。平成25年に「カタールフレンド基金」の「起業家支援」分野に「INTILAQ」を提案し、このプロジェクトがスタートしました。

仙台に拠点となる当センターを開設したのは、震災で特に被害の大きかった岩手、宮城、福島の3県の間地点であるからです。



「INTILAQ東北イノベーションセンター」

【施設概要】

クラスルーム（30～50名収容、2室）
ラウンジ（共有スペース）
キッチン
階段教室（60名収容）
カタールルーム
ブロードキャスティングスタジオ

（会員専用スペース）
コワーキングスペース
オフィススペース
レジデンスブース

— 施設の特徴について教えてください

当センターの特徴は、様々な企業活動がこの施設内で行えるということです。

まずレンタルオフィスとしての機能ですが、起業したばかりで大きなオフィスを必要としない方には、共同の職場である「コワーキングスペース」、または自分専用のスペースとして「レジデンスブース」をご利用いただけます。もう少し大きなオフィスが必要という方には、5～6名用の「オフィススペース」があります。いずれも会員登録が必要です。

単なるオフィスでは事務作業くらいしかできませんが、当センターは違います。「コワーキングスペース」には3Dプリンターやレーザーカッターなどの機材があり、商品サンプルの製作が可能です。イベントには「階段教室」や「クラスルーム」を活用できます。飲食業であれば「キッチン」で試作品を作り、他の会員や関係者に試食してもらうこともできます。「ブロードキャスティングスタジオ」では映像を制作し、世界に発信することも可能です。中東の雰囲気味わえる「カタールルーム」で、ヨガ教室を開催する人もいます。



「ブロードキャスティングスタジオ」



中東の雰囲気味わえる「カタールルーム」

設計の段階では、建物の色彩、デザインなど雰囲気にこだわりました。アイデアを生み出す時には、無味乾燥な空間よりも、オープンで自由な、リラックスした空間が適しています。

また、異業種の、多種多様な方々が集まりお互いに刺激を受けるということも、アイデアが生まれやすい要因と考えています。当センターの会員には会計士、IT関連、清掃業、飲食業など、多岐にわたる起業家があります。そういう方々が共同スペースにおいて活動をする中で、起業家同士の横の交流が図れ、いろいろな刺激や情報が得られるのです。

この施設には、アイデアが生まれやすい環境と、そのアイデアをサンプルの製作やイベントの開催といった次のアクションに結び付ける設備があります。他のインキュベーション施設との違いは、このような起業家のための仕組みができていているところです。

—これまでの活動内容について教えてください

現在、コワーキングスペースの会員数は25社です。また、レジデンスブース3室、オフィススペース1室の空きがあります（平成29年6月現在）。仙台市などの起業支援窓口での紹介や当センターのイベントを契機に会員になる方が多いです。

オープンから1年半、当センターに足を運んでもらうためのイベントを数多く開催してきました。実績のある起業家による講演会・パネルディスカッションなどの啓蒙セミナーや、法律・会計などの実務セミナー、IT技術を学ぶワークショップなど様々です。

参加者は既に起業している方もいますが、起業準備中の方、起業に興味を持っている方などが多いです。年齢層は主に10代後半から30代で学生もいます。大学生のインターンシップも数名受け入れています。意欲のある方ばかりで頼もしいです。

若年層を対象とした活動として、小学生向けの起業体験ワークショップを実施しています。金融機関の方々の前で、事業プランの企画・プレゼンテーションなどを実際に行うのですが、今までしたことのない経験ができるということで、参加した児童やその親からも大変好評です。

またセンター外での活動として、被災地である女川町にて「創業本気プログラム」という起業家向けのプログラムの講師役を当センターのスタッフが引受け、女川のNPO団体に協力して実施しています。

当センターは新しい施設なので、多くの人に知ってもらうことが課題でした。これまでの活動の手応えとして、当センターの認知度は徐々に高まってきたという実感があります。



コワーキングスペース



階段教室でのイベントの様子

—今後どのような活動を考えていますか

起業家を志す方向けの育成プログラムを企画しています。10人くらいの少人数を集め、起業マインドの醸成、ビジョンの明確化、ビジネスモデル構築などのワークショップを、個別メンタリングを交えて実施します。

また、仙台市の事業の一環で、東北の起業家による講演会やパネルディスカッションを、東京で開催しようと考えています。東北で起業する魅力を伝え、当地での起業を働きかけることやそのサポーターを募ることがねらいです。

当センターの使命は、「ベンチャーエコシステム」を作ることです。この施設で生まれ育った起業家たちが、今度は新しい起業家を生み育てていく、という循環です。当センターはその一端を担うための活動を、今後も継続して企画・運営していきます。

—起業家の方、起業を志している方にメッセージをお願いします。

「失敗を経験したことがない者は、何も新しいことに挑戦していない者だ」これはアインシュタインの言葉です。最初からうまくいくことなんてありません。失敗を恐れずに挑戦する起業家の方々を、当センターは全力で支え、協力していきます。

—最後に

「起業家を生み育てる」という目的のもと、イベントやプログラムの内容だけではなく、施設内の設備や空間の細部に至るまで、様々な工夫に満ちていました。今後この施設を生かし、宮城県から多くの起業家が生まれ育っていくことを期待しています。

○INTILAQ東北イノベーションセンター

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-9-1 地下鉄東西線 卸町駅北1出口より徒歩5分

TEL: 022-357-0543